

東京問題は、地方問題である。

四全総の中間報告が出て以来、東京一極集中を批判してきた。まるでこの中間報告というのは「全国総合計画」ならぬ「東京振興計画」ではないか、ということをお願いしてきたが、最終的には一応「多極分散型国土の形成」として方向づけがなされた。—— 中略 ——

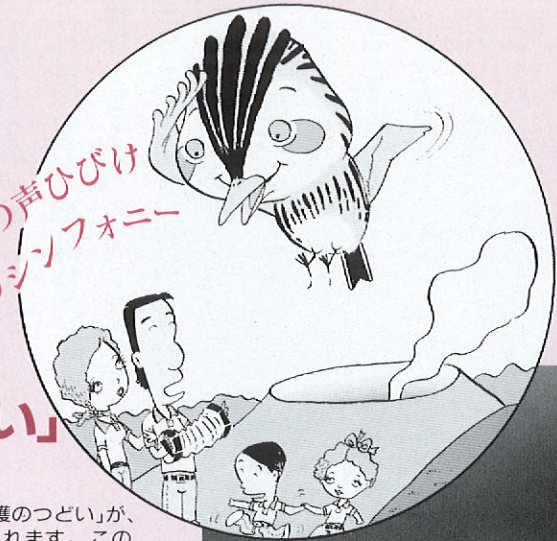
私が特に指摘したかったのは、その東京集中を、政策的にこれ以上助長、促進するということは、不適切なものであるという点である。過度の集中がもたらす弊害を取り除くのに、対症的な土地対策ではもはや不可能になっており、東京のあらゆる過剰を吸収するためにも、地方の活性化しかないと思う。—— 中略 ——

はつきりしておきたいのは、東京に対して嫉みや悪意を言っているわけではなく、我々は、例えば私達の熊本においては、東京や大阪のミニチュアにはなりたくない。東京とは別の幸せというものを築き上げたい

という思いのもとで、「新しい田園文化圏の創造」を目指して、あるいは「偉大なる田舎の創造」を目指して取り組んでいるわけ、東京の足を引張ろうなどという気持ちは毛頭ない。むしろ「国際都市東京」をいかに活用するか、いかに利用するかというところに私たちは大いに知恵を絞りたいと思っている。—— 中略 ——

東京は今や、世界の東京として異常増殖を続けている。東京が豊かになって儲け出した分を、地方に分けて、地方を養っていくというのも一つの考え方ではある。しかし、繰り返して言うが、それはけっして国として健全な発達の姿ではないわけで、日本列島が頭でっかちでなく、心身のバランスのとれた姿として発展をしていくために、東京の発展と同時に、地方のより以上の活性化が望まれる。その意味で、東京プロブレムは即、地方の問題であり、地方の問題は東京問題と表裏の問題だと思っている。

雑誌「東京人」知事寄稿文より



第42回 愛鳥週間 「全国野鳥保護のつどい」

主催 環境庁・財団法人鳥類保護連盟・熊本県
後援 文部省・林野庁

風薫る五月の空のもと、第42回愛鳥週間「全国野鳥保護のつどい」が、常陸宮殿下、同妃殿下をお迎えして、熊本県で開催されます。この「つどい」は、愛鳥思想の普及啓蒙を目的として開かれるもので、毎年多くの方々のご参加をいただいています。今回のテーマは、「鳥の声ひびけ緑のシンフォニー」。大自然を満喫しながら、野鳥への愛を深める楽しいひとときを、ぜひ、ご家族で、グループでご参加ください。

「県下各地探鳥会」

●5月8日(日) ●朝9:30から

初心者の方でも、気軽にバードウォッチングを楽しめます。最寄りの会場でご参加下さい。(往復ハガキでお申し込み下さい)

- 荒尾市・荒尾海岸(朝9:30～昼12:00)
- 菊池市・菊池溪谷(朝9:30～昼1:00)
- 高森町・南阿蘇国民休暇村(朝9:30～昼12:00)
- 八代市古麓・春光寺(朝9:30～昼12:00)
- 芦北郡・芦北海岸ほか(朝9:30～昼3:00)
- 人吉市・人吉城跡(朝9:30～昼12:00)
- 本渡市・染岳(朝9:30～昼12:00)

「野鳥・文化 会議」

●5月14日(土) ●昼1:30～夕5:00(受付昼12:30から)

●熊本ホテルキャッスル(キャッスルホール)

私たちの生活を豊かにしている現代文明は、緑と大きくかかわってきました。その緑の構成員である野鳥も、また、文化の形成に大きな影響を与えてきましたが、近年、緑の減少と共に少なくなってきました。

いま文化というフィルターを通して、それぞれの専門分野から野鳥を見直し、21世紀の新しい田園文化の在り方をさぐります。(往復ハガキでお申し込み下さい)

出席者(50音順)

阿部 学 / 国立林業試験場鳥獣第2研究室長、日本鳥学会評議員、著書「この鳥を守ろう」、「自然保護の生態学」ほか。

イデス・ハンソン / タレント、著書「花の木登り協会」、「MSハンソンのうろちよろエッセイ」など多数。

岩田 慶治 / 大谷大学教授、元東工大教授、著書「生物地理学の国信信仰」、「草木虫魚の人類学」、「人間・遊・自然」など。

岩本 久則 / 漫画家、愛鳥家(日本野鳥の会会員)、エッセイスト、著書「野鳥観察手帳」、「鳥神話」、第42回愛鳥週間「全国野鳥保護のつどい」シンボルマーク作者。

小野 勇一 / 九大理学部教授、自然環境保全審議会委員、第5回国際生態学会議幹事(1990年開催)、著書「共生生態学講座」、「九州・沖縄の生きものたち」(共著)。

泉 眞也 / 環境デザイナー、万博東芝館 111 館・電力館映像制作、映画「世界の道路と都市」(世界道路映画祭金賞受賞)、ほか「若者たち」、「太陽の狩人」など。

「子供のためのミュージカル」

●4月3日(日)～5月14日(土)

愛鳥童話を原作としたミュージカル。人間の自然破壊により、緑の電車をくり森を離れた小鳥たちが、心やさしい親娘とのふれあいに、もう一度人間達と暮らそうと、地球へ戻ってくるというお話。(有料)

ミュージカル公演スケジュール

4月3日(日) 水俣市文化会館	5月1日(日) 牛深市総合センター
10日(日) 荒尾市総合文化センター	8日(日) 宇土市民会館
17日(日) 菊池市民会館	14日(土) 最終公演
24日(日) 人吉市カルチャーセンター	熊本市・熊本県立劇場

「野鳥展」

●5月12日(木)～15日(日)

●熊本市下通りアーケード街・「城屋ダイエー」8階ホール

イベント①(マイポスター探し) 昨年の愛鳥作品コンクールの応募ポスターを迷路に展示。自分の作品を見つけた人に、記念品進呈。イベント②迷路内のキーワードを集めて、パズルに答えた人にも記念品を準備。その他、野鳥の写真・バードウォッチングの情報・愛鳥作品コンクールの優秀作品展示など、楽しさも盛り沢山。

「全国野鳥保護のつどい」

●5月15日(日) ●朝9:45～昼1:00

●グリーンピア南阿蘇内「アスペクタ」

幅130mの野外ステージ「アスペクタ」で繰りひろげられる、今度の「つどい」。厳粛な中にも、楽しさがいっぱい！皆んなで野鳥に歌いかけます。あなたも、さあ、一緒に。

●プロローグ…リアルパフォーマンス、県内の野鳥の森を再現し、鳥がメロディーを奏でます。

●オープニングアクト…100人のパレエダンサーにより「風」「光」を演出し、自然のすばらしさを表現します。

●式典

●エンディング「翔」…傷病鳥など100羽程度を記念放鳥します。オリジナル曲「翔の曲」が流れます。

●野鳥に捧げる音楽会…1000人コーラスを中心に、参加者全員でレッツコーラス。野鳥への思いが、さわやかに南阿蘇に響きます。

●ランチタイムコンサート…昼食をとりながら、シンセサイザー、エレクトーン、郷土芸能などのコンサートを楽しんでいただきます。

※歌手の南こうせつさんもやります。

一般参加歓迎 当日昼12:00まで、グリーンピアは入場無料/ご家族で、グループで、お早めにお越し下さい。 ※詳しくは、県自然保護課へ ☎(096)385-6860

